



感染性胃腸炎

ノロウイルスを中心に

🔍 病気の説明 (どんな病気?)

嘔吐と下痢が突然始まるのが特徴です。原因は様々ですが、代表的な病原体ウイルスとしてノロウイルスがあります。ノロウイルス感染症は、秋から冬にかけて流行し、悪心、おう吐、下痢、発熱、腹痛などの症状が現れます。小児ではおう吐が、成人では下痢が多い傾向です。症状は平均24~48時間ほど続きます。

🔍 予防 (感染はどう防ぐ?)

主に病原体が付着した手で口に触れることによる接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入ることによる)ですが、飛沫感染(咳、くしゃみなど)、じんあい感染(ウイルスに汚染された床から舞い上がったほこりを吸い込むことによる)でも感染します。また、汚染された二枚貝(カキなど)を介しての感染など、食中毒の原因となる場合もあります。潜伏期間は12~48時間です。予防には手洗いが重要です。治った後も、比較的長い期間、患者の便と一緒にウイルスが排出されます。トイレの後、調理や食事の前には、石けんと流水で十分な手洗いをしましょう。アルコールは効きにくいいため、環境消毒には次亜塩素酸ナトリウムを用います。



🔍 治療 (感染したときは?)

基本的に対症療法です。特に乳幼児や高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には輸液などの治療が必要になります。

🔍 登園・登校の基準

下痢、おう吐の症状が治まり、全身状態の良い場合は登園・登校が可能です。治った後も、数週間にわたり便からウイルスが排泄されることがあるため、トイレの後や食事の前の手洗いは、引き続き重要です。

🔍 詳しく知りたい方は [感染性胃腸炎について | メディカルノート \(medicalnote.jp\)](https://medicalnote.jp)

🔍 横浜市の流行状況 [横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

